

「第9回定期大会」開催!

組織の総力をあげて難局を乗り越え、私たちの掲げた「会社と共に」の実践から
会社の持続的成長と組合員・家族の幸せを実現しよう!

7月9日、中央本部は「第9回定期大会」を品川区立中小企業センター（東京）および各地方本部（新潟・仙台）において、オンライン接続により各会場を繋いで開催し、大会構成員、来賓を含め約40名が参加した。大会議長には、斎藤代議員（新幹線地本）が選出され、真摯な討議により、提起された令和3年度運動方針などの各議案、大会スローガン、大会宣言は満場一致で採択され、大会は盛会裡に終了した。



菅野中央執行委員長

歴史は変えられないが、未来を変えること、
創ることはできる!

菅野中央執行委員長は冒頭の挨拶で、これからの運動展開について触れ、「JR東日本の中に、働く社員のための本当の労働組合は絶対に必要。厳しい現状の中、現場の社員を一つにできるのは「真の企業内労働組合」の規範を持つ私たちだけ。私たちは会社にイースト運動を継承させることだけに留まらず、新たな労働組合へ変革される道への協力を惜しまない。」と述べ、「JR東日本の中に『会社と共に』から社員を守る労働組合の再構築に、最後まで共に闘い取り組むことを強くお願いしたい。」と力強く訴えた。

質疑では5名の代議員から発言があり、組織現状からの運動のあり方、安全の確立、会社施策の検証など、当面する活動方針を全体で確認し、菅井事務局長の総括答弁の後、各議案は満場一致で承認された。大会の締めくくりは、菅野中央執行委員長の「団結ガンバロー」で全組合員が心一つになり、「会社と共に」前に向かう決意を新たにした。

真に「会社と共に」から会社と社員を守る労働組合を創造しよう!